核構造データ・サブワーキング・グループ会合

日　　時：昭和５５年１２月１８日(木)　　13:30～17:30
　　　　　　　　　　１２月１９日(金)　　9:10～17:00

場　　所：日本原子力研究所　東海研

出 席 者：喜多尾（放医研），神戸（東工大），松本（原研）

議　題

1. Ａ＝１２８核構造データの評価とファイルの作成作業

a) ^{128}I から ^{128}Te への電子捕獲崩壊と ^{128}Xe への β^- 崩壊の分岐比について，神戸による再評価の説明があり，その値を採用することとした。

b) ^{128}I については，１９７８年の（p，nγ）のデータ・ファイルを作成した結果，そのレベルと γ 線の信頼度が比較的高いと思われるので，それを参考に１９７１年の（n，γ）データの見直しを行いたいという提案が喜多尾より出された。

c) ^{128}Sb（９分）および ^{128}Sb（１０時間）の ^{128}Te への β^- 崩壊に関する評価作業を行った。

d) ^{128}Te（n，n'γ）反応のファイルが作成され，
^{128}Cs，^{128}Ba 関係のファイルがほゞ完成した。

2. 今後の作業方針について議題と打合せを行った。